

学校基本調査
調査票間チェックツール（大学・短大）
導入・操作マニュアル

2015年3月

（目次）

1. 概要	3
2. 事前準備	4～5
3. 操作	6～9

1. 概要

1. 1 学校基本調査 調査票間チェックツール（大学・短大）とは

本ツールは文部科学省が実施する、学校基本調査における以下の調査票間の項目値（A に対する B の合計値）の整合性を審査する為のツールです。

A:

学校調査票（大学・短期大学） 学生教職員調査票
「3 学生数」

B:

- 1) 学校調査票（大学） 学部学生内訳票
「5 学科別学生数」及び「12 専攻科・別科及び科目等履修生等の学生数」
- 2) 学校調査票（大学） 大学院学生内訳票
「6 専攻別学生数」及び「11 科目等履修生等の学生数」
- 3) 学校調査票（短期大学） 本科学生内訳票
「3 学科別学生数」 及び「8 専攻科・別科及び科目等履修生等の学生数」

審査に使用するデータは、電子調査票より出力される XML ファイルです。

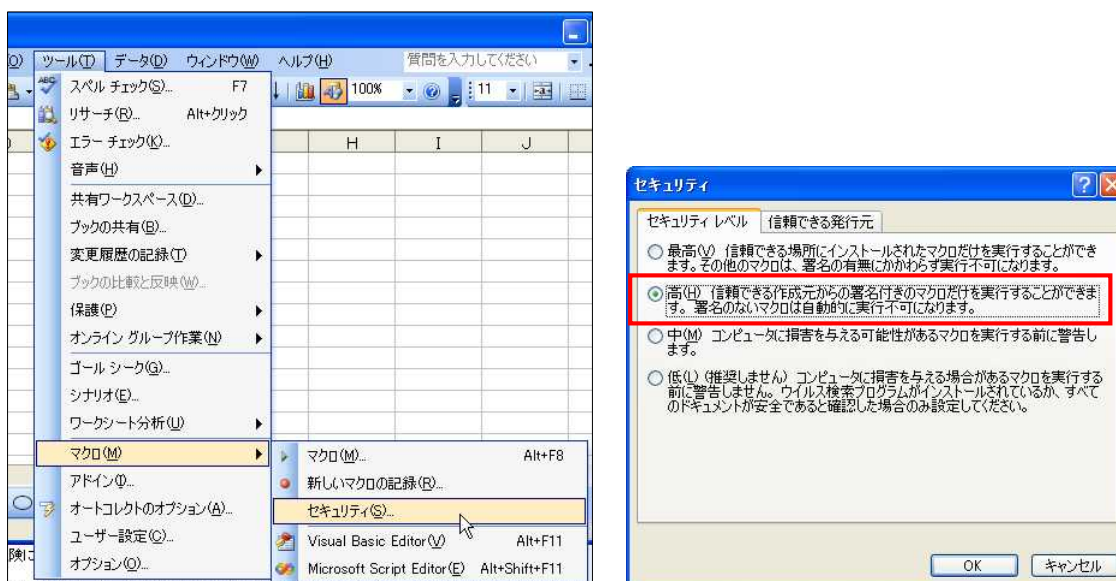
2. 事前準備

2. 1 マクロの設定

「学校基本調査_調査票間チェックツール」では、エクセルのマクロ機能を使用しています。使用の前に、マクロの設定を確認してください。

【Excel2003】

[ツール]-[マクロ]-[セキュリティ]を選択し、[セキュリティ]を表示します。



セキュリティレベルを「中 (M)」に設定します。

【Excel2007 以降】

設定変更の必要はありません。

2. 2 調査票の準備

電子調査票より出力した XML ファイルをすべて同じフォルダに移動します。

注意！！ このとき、XML ファイルを上書きしてしまわないよう、あらかじめファイル毎に別の名前をつけておいてください。

※電子調査票の操作については、別途マニュアルを参照してください。

3. 操作

3. 1 準備

「学校基本調査_調査票間チェックツール（大学・短大）.xls」※1 を任意のフォルダにコピーしてください。

※1 コンピュータの設定により、「.xls」が表示されない場合もあります。

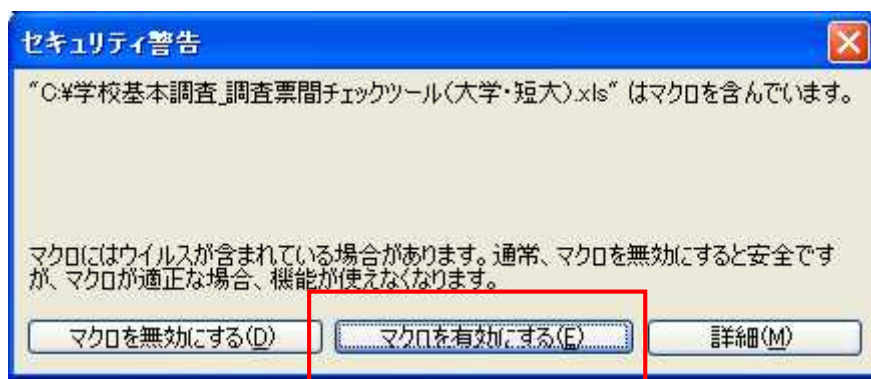


3. 2 起動

「学校基本調査_調査票間チェックツール（大学・短大）.xls」を開いてください。

【Excel2003】

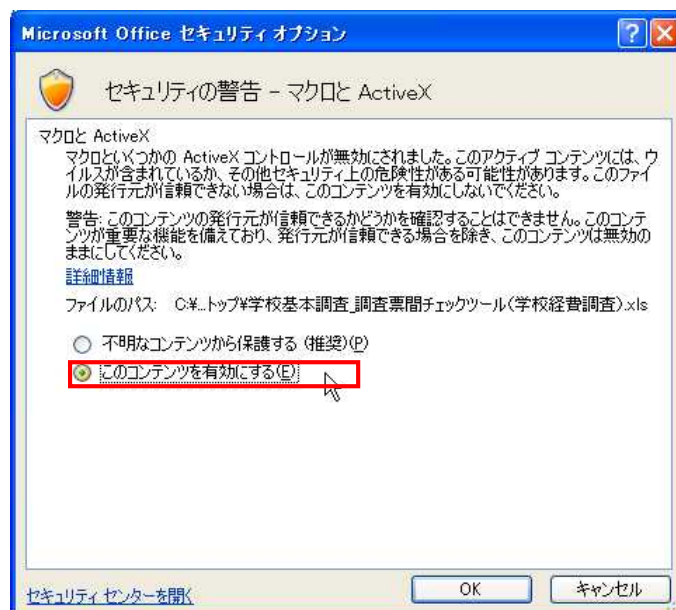
起動時に[セキュリティ警告]が表示されます。[マクロを有効にする(E)]を選択してください。



【Excel2007 以降】

リボンの下に、[セキュリティの警告]が表示されます。[オプション]を選択し、[Microsoft Office セキュリティオプション]を表示します。





[このコンテンツを有効にする(E)]を選択します。

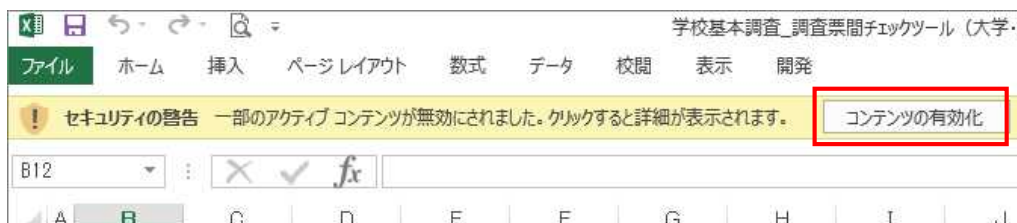
【Excel2010】

リボンの下に、[セキュリティの警告]が表示されます。[コンテンツの有効化]を選択します。



【Excel2013】

メニューバーの下に、[セキュリティの警告]が表示されます。[コンテンツの有効化]を選択します。



3. 3 操作

起動後、[操作]シートの[・調査票より出力した XML ファイルを保存したフォルダを選択してください。] 欄に電子調査票から出力した XML ファイルを保存したフォルダを指定してください。

[参照]ボタンを押し、選択することも可能です。

フォルダを選択後、[チェック]ボタンをクリックします。審査が開始され、結果が表示されます。

審査結果は、[結果_YYYYMMDD]（YYYYMMDD は今日の日付）シートが作成され、表示されます。

（同じ日に複数回チェックした場合、[結果_YYYYMMDD_2]と回数が追加されます。）

審査の結果、不一致が生じている項目は赤く表示され、メッセージが表示されます。

調査票を修正し、再度審査を行ってください。

